

小美玉の今を伝えるマガジン



ダイヤモンド  
シティ  
小美玉  
見つける。  
みがく。  
光をあてる。

2020年  
July

7

広報  
おみたま  
第172号

contents

[特集] 小美玉産ブルーベリー	2-7
わだい	8-9
TOPICS	10
インフォメーション	11-17
情報ガイド	18

Special Feature



夏が旬! ただいま最盛期!

# 小美玉産ブルーベリー



広報  
おみ  
たま  
第172号



表紙写真撮影  
齋藤友幸さん



夏が旬！ただいま最盛期！



# 小美玉産ブルーベリー

ブルーベリーの出荷が最盛期を迎えています。  
摘みたてのブルーベリーをそのまま食べるのはもちろん、ジャム、ヨーグルト、ジュースなどの加工品、パンやスイーツにも使われています。



## のアイ 玉

アイ・ラヂルベリー  
ブルーベリー畑からアイをこめて。

農家とたくさんの方のサポーターの愛「アイ」が込められているブルーベリーブランド「アイの玉（登録商標）」は、小美玉市ブルーベリー生産組合が設立10年を節目として立ち上げた珠玉のブルーベリー・ブランドです。全組合員がエコファーマーの認定を受け、独自のガイドラインで品質を管理し出荷しています。

特集記事取材・撮影  
広報おみたま取材チーム

### 国内主産地の関東地方

200種類以上あると言われるブルーベリーの品種は、大きく分けると「ハイブッシュ系」と「ラビットアイ系」の2種類に分類されます。「ハイブッシュ系」は寒冷地向きで6月から7月中旬に旬を迎え、皮が薄くて風味がよい品種が多く、比較的繊細な果実。「ラビットアイ系」は暖地向きで7月中旬から8月に旬を迎え、太陽をしっかりと浴びるため触感もあり、比較的丈夫な果実です。関東地方はどちらの栽培にも適しており、国内の主産地です。

### 小美玉のブルーベリー

旧玉里村では、平成17年頃から特産物にしようと栽培を推進し、小美玉市



※1 エコファーマー：「持続性の高い農業生産方式」を導入する計画を作り、県知事の認定を受けた農業者の愛称。

※2 ブルーベリー摘み取りサポーター制度：現在の登録者数は80人。  
 謝礼として1日に収穫したうちの1割をお土産に受け取ります。  
 摘み取りサポーターの新規受付は、新型コロナウイルス感染症予防のため、  
 窓口での受付は行っていません。組合HP(「アイの玉」で検索)で行っています→



大曽根 憲雄 会長

小美玉のブルーベリー栽培の特徴の一つが「ブルーベリー摘み取りサポーター制度(※2)」。平成25年から募集を始め、年々増えて現在は市内外80人が登録し、延べ800人が活動。大曽根会長は「一人あたり7〜8キロ摘んでくれて、産地の力になっています。ありがたい存在です。」と感謝しています。

### 摘み取りサポーター

誕生後も市が推奨したことから市内全域で栽培されるようになり、小美玉市ブルーベリー生産組合が平成19年に設立。現在24人で、年間市場出荷量15トン。県内屈指の生産地となっています。  
 土壌管理などを徹底し、栽培や出荷の厳しい基準をクリアした、高品質の小美玉産ブルーベリーを「アイの玉」としてブランド化。全組合員がエコファーマー(※1)の認定を受け、独自のガイドラインで品質を管理し、出荷しています。